

十和田市市右衛門のコウヤマキの保護・保全事業実施報告書です。

名木の所在地	青森県十和田市大字深持字山ノ下9-2
名木の名称	市右衛門のコウヤマキ 推定樹齢 450年
名木の所有者	中野渡市右衛門
治療年月日	平成23年11月28日（月）
樹木医による 名木の診断内容	<p>葉形が湾曲して、やや小さくなっていて、衰弱の兆候が見受けられる。特に、樹幹内部の枯枝が多く単なる日照不足とは診断しがたい。</p> <p>また、根系は一部に腐朽が生じており地上部に露出している部分が多い。</p> <p>根系周辺の土壌は固結部分も多く、表面PHは4.5～5.0と酸性が強くなっている。主幹には、穿孔虫の侵入した痕があり東側の樹皮には、腐朽液が流出した赤系の樹皮が見受けられる。</p> <p>対応としては、根系の腐朽処理及び土壌改良による、土壌固結処理及びPHの酸性度補正が主となる。</p>
実施した治療内容	<p>高度な有機質を含む改良材と、土壌の有機質分解を促す微生物増殖環境とするため空隙率の高い活性炭により、PHの酸性度補正と土壌改良工を実施した。</p> <p>また、根系腐朽部の処理を行うとともに、土壌改良したあとに細根の発生を多くするため、発根剤の散布と新根の健全性を促進するため養生剤の散布を行った。</p>
今後の名木に 対する留意事項	土壌のPHが4.5～5.0と酸性が強くなっているため、枝葉等の変色に注意をする必要がある。



十和田市大字深持

根系周辺の土壌は固結部分も多く、表面PHは4.5～5.0と酸性が強くなっている。



根系は一部に腐朽が生じており地上部に露出している部分が多い。



土壌固結の処理及びpHの酸性度を補正
するための、土壌改良工を実施した。